



松谷天星丸様ご寄贈の小便小僧



No.37 (平成30年)

社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院
西多摩療育支援センター
後援会

連絡先

〒208-0011
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042-561-2521 (代表)
東京小児療育病院
Eメール tcrh@kakufuh.com

小便小僧

社会福祉法人鶴風会
理事長 松尾 賢一

時間の経つのは早いもので、あっという間に時が流れ東京小児療育病院も52歳となりました。皆様におかれましては、鶴風会の事業にいつも多大なご支援、ご鞭撻を戴いておりますことを、心より深謝申し上げます。

52年も経ちますと建物の老朽化のみならず、施設内部の機材も色々と問題が発生し、MRIの故障を始めシステムの老朽化が顕著にみられるようになってきました。そのようなことで昨年はMRIの新規購入、電子カルテの導入、古くなった機器の買換えなど大きな出費が見られましたが、収入は限られていますので支出を出来るだけ少なくすることに努力し、経費を見直し徹底的に削減し、納入価の値下げ交渉などを軸に

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実に
積極的に取り組む障害児者と
その家族を支援します

- 1頁 小便小僧
- 2頁 歴代後援会長とそのご活躍の足跡
- 3頁 決算報告
- 4頁 東京小児だより・西多摩だより
- 5頁 法人表彰式
- 6頁 オルフェ案内
みどりまつり・バザー案内
- 7頁 後援会だより・センター祭報告
- 8頁 ご寄付者名簿

大幅に削減しております。

先日、鶴風会後援会会長であられる青木 継稔先生より松谷天星丸先生が「小便小僧」の置物を寄付して下さいとのことのお話がありました。はじめは松谷天星丸先生を良く存じ上げず、男性かと思っておりましたが、東邦大学医学部を昭和31年に卒業した先輩の女医先生でした。先生は4姉妹の次女で第二内科から生理学教室に移り神経科学を研究され、藤田保健衛生大学医学部教授、東邦大学医学部客員教授などを歴任され、一時昭和39年には東京小児療育病院併設の脳性麻痺研究所で脳の発育、成長、老化の研究もしておられました。御長女の天光光先生は昭和21年に日本で初めて女性衆議院議員となりました。御主人は園田直氏で厚生大臣、衆議院副議長、内閣官房長官として外務大臣を歴任した方です。松谷天星丸先生は数々の執筆がある中、3年前に「96歳の姉が、93歳の妹に看取られ大往生（幻冬舎）」という本を出版しております。姉妹の

名前の謂れなど、家庭をユーモア交えてエピソードと共に紹介し、どのように老々介護に向かい合ったら良いか実体験から書き下ろした内容で、介護中の方、これから介護をする方、介護を受けられる方にとても参考になると思います。介護に関係のない方にも、病と病気の相違など数多くの興味深い考え方が書かれており、ためになる本だと思えます。

松谷天星丸先生の話が長くなりましたが、『小便小僧』は1619年にベルギーのブリュッセルにフラマン人（オランダ語を話すゲルマン民族）の彫刻家・ジエロム・デュケノアが製作したのが起源で、オリジナル像はブリュッセル市立博物館に所蔵されています。その由来は、当時2歳のゴドフロワ2世率いる軍がグリムベルゲンでの戦いの戦場で、2歳の支配者をゆりかごに入れて木の上から敵軍に小便をし、戦場の兵士を鼓舞し味方に勝利を導いたという説や反政府軍がブリュッセルを爆破しようとした爆弾の導火線に小便をかけて消し、街を救った少年（ジュリアン）がいた武勇伝説ともいわれています。

寄付して戴いた小便小僧を間近で見ると、汚れも傷もまったくなく、その

姿がとても美しくロマンを感じるもので、老朽化した施設を建替えて新しく完成した暁にはシンボルとして飾らせていただこうと思っています。現在建替えるための委員会も立ち上げておりまもなく皆様に建替えるための寄付をお願いするようになるかと思いますが、これからも皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

歴代後援会長と

そのご活躍の足跡

社会福祉法人鶴風会後援会

会長 青木 継稔

本法人鶴風会後援会の活動の歴史を知って頂くために、歴代後援会長について記載したいと思います。

後援会活動の目的と意義は明確であり、「社会福祉法人鶴風会のあらゆる事業を支援し後援する」ことだと思えます。

◆初代会長は近藤龍一先生

初代会長は、元東京都副知事の近藤龍一先生が1995（平成七）年までの長期に亘り就任下さいました。後援会の事業・活動の基礎作りを確立して頂きました。チャリティコンサートの開催、広報誌「はぐくむ」発行協力と

募金お願い、父母の会とともに定期バザー開催とご寄附公募などは現在も実施しています。創立10周年の際、当時我が国ではあまり知られていなかった障害児に対する当法人鶴風会の運営する東京小児療育病院の療育内容ほか障害児の生活状況を紹介したセミドキュメンタリー映画『ともしびを高く』は大変な評価がなされました。私自身も大きな感動と障害児医療・療育にも情熱を傾ける必要性を感じた映画でした。

近藤龍一先生の思い出は、東京小児療育病院玄関入口左側壁面に先生揮毫の「はぐくむ」の石版です。その文字は広報誌「はぐくむ」のタイトルになっっています。先生は1995年11月に84歳で逝去されました。

◆2代目は桑原章吾先生

学校法人東邦大学理事長、同医学部微生物学教授であった桑原章吾先生が2代目会長になられ約13年間（2008・1）急逝されるまで務めて下さいました。ご遺族（令夫人等）のご芳志によりメモリアルホール「桑原ホール」が出来、多目的に日々有効利用されています。

◆3代目は本明登志子先生

当法人元理事長（1994～1998）であった本明登志子先生が2年間

の短期ですが3代目後援会長をされました。従来の後援会事業に加えて、当時の五島瑛智子理事長とともに看護宿舎の改装、職員に対する北欧障害状況視察研修を実施しました。先生も一昨年故人になられてしまいました。

◆4代目は五島瑛智子先生

五代目法人理事長（2004～2010）の五島瑛智子先生（東邦医療短期大学名誉学長）が4代目後援会長に就任（2010～2014）しました。

先生は、本法人設立当初から理事、理事長など献身的・精力的に発展に尽力下さいました。先生の最後のお仕事は、本法人50周年の記念式典・祝賀会や「東京小児療育病院50年のあゆみ」発行事業の企画運営でした。情熱的に事業に集中され成功に導かれたことは記憶に新しいことでした。直後に病魔に犯され残念ながら亡くなられ、巨星落ちるという衝動が走りました。

◆5代目は私・青木継稔です

私は昭和40（1965）年、東邦大学医学部を卒業しました。東邦大学医学部小児科教授・同医学部長、同大学学長（2000～2012）、現在は、同名誉学長・名誉教授を拝命しています。小児科医であり、小児神経学・先天異常・遺伝性代謝異常症・小児代謝

栄養学・小児保健学・医学教育等を専門としてきました。本法人医療・人事等の陰の功労者有馬正高先生（国立精神神経センター名誉院長・社会福祉法人全国重症心身障害児者を守る会理事長）のひとりの弟子と自負しています。障害児医療・療育に深い関心を持ち、本法人設立初期から関わらせて参りました。とくに、四代目本法人理事長の倉島慎子先生（1982～2004）の時代より評議員を務めさせて頂いておりました。鈴木康之先生が大分医科大学より赴任される前には一時期私も東邦大学医学部小児科教室員が当直を引き受けていた時期がありました。私の臨床研究の一環として、東京小児療育病院設立初期に入院していたMS君（Lesch-Nyhan症候群）と出会い、尿酸・プリン代謝研究し診断面、病態生理あるいは治療法開発に情熱を注いだことを忘れません。MS君は当時幼児でしたので今は60歳近くになり、今でも東京小児療育病院にお世話になっています。

後援会長として、本法人鶴風会のおらゆる事業を支援して行きたいと思っています。皆様の暖かなご支援ご協力を改めてお願い申し上げます。よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 鶴風会 平成29年度 事業活動計算書

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	4,266,074,591	4,139,266,698	126,807,893
サービス活動費用計	4,148,556,056	4,076,251,125	72,304,931
サービス活動増減差額	117,518,535	63,015,573	54,502,962
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	32,298,617	38,638,086	-6,339,469
サービス活動外費用計	6,086,247	5,903,836	182,411
サービス活動外増減差額	26,212,370	32,734,250	-6,521,880
経常増減差額	143,730,905	95,749,823	47,981,082
特別増減の部			
特別収益計	26,161,894	10,884,791	15,277,103
特別費用計	25,766,420	23,968,752	1,797,668
特別増減差額	395,474	-13,083,961	13,479,435
当期活動増減差額	144,126,379	82,665,862	61,460,517
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,202,993,123	961,327,261	241,665,862
当期末繰越活動増減差額	1,347,119,502	1,043,993,123	303,126,379
基本金取崩額	0	0	0
その他の積立金取崩額	0	219,000,000	-219,000,000
その他の積立金積立額	100,000,000	60,000,000	40,000,000
次期繰越活動増減差額	1,247,119,502	1,202,993,123	44,126,379

決算報告

社会福祉法人鶴風会では
経営実態や経営の透明性確保をするため、
社会福祉法、に基づき情報を公開しております。

社会福祉法人 鶴風会 平成29年度 資金収支計算書

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
事業活動収入計	4,274,929,000	4,298,373,208	-23,444,208
事業活動支出計	3,972,614,000	3,910,513,160	62,100,840
事業活動資金収支差額	302,315,000	387,860,048	-85,545,048
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	22,328,000	22,313,213	14,787
施設整備等支出計	163,070,000	150,391,200	12,678,800
施設整備等資金収支差額	-140,742,000	-128,077,987	-12,664,013
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	6,077,000	9,028,681	-2,951,681
その他の活動支出計	181,096,000	166,763,198	14,332,802
その他の活動資金収支差額	-175,019,000	-157,734,517	-17,284,483
予備費支出	18,000,000	0	18,000,000
当期資金収支差額合計	-31,446,000	102,047,544	-133,493,544
前期末支払資金残高	1,221,761,000	1,221,761,486	-486
当期末支払資金残高	1,190,315,000	1,323,809,030	-133,494,030

社会福祉法人 鶴風会 平成29年度 貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,659,316,908	1,590,216,678	69,100,230
固定資産	4,622,591,313	4,575,901,864	46,689,449
基本財産	2,874,789,262	2,931,414,215	-56,624,953
その他の固定資産	1,747,802,051	1,644,487,649	103,314,402
資産の部合計	6,281,908,221	6,166,118,542	115,789,679
負債の部			
流動負債	550,289,011	570,701,898	-20,412,887
固定負債	1,321,598,968	1,304,733,936	16,865,032
負債の部合計	1,871,887,979	1,875,435,834	-3,547,855
純資産の部			
基本金	1,705,794,456	1,705,794,456	0
国庫補助金等特別積立金	870,097,740	894,886,585	-24,788,845
その他の積立金	587,008,544	487,008,544	100,000,000
次期繰越活動増減差額	1,247,119,502	1,202,993,123	44,126,379
(うち当期活動増減差額)	144,126,379	82,665,862	61,460,517
純資産の部合計	4,410,020,242	4,290,682,708	119,337,534
負債及び純資産の部合計	6,281,908,221	6,166,118,542	115,789,679

東京小児療育病院だより

東京小児療育病院

看護・生活支援部長 長田 幸枝

利用者・職員の、生きがい・

遣り甲斐を感じる関わりに向かって

東京小児療育病院は、開業から54年を迎え、利用者さんやご家族、職員とともに歩み年輪を刻みました。長期入所の利用者さんは年齢を重ねるごとにケア量が増し、体調を整えるために費やす時間が多くなりましたが、利用者さんも職員も様々な活動により笑顔をお交わしたいと強く思っています。看護・生活支援部では、昨年度「遣り甲斐を感じることに」について「職員アンケート調査を実施し、その結果「もっと活動時間を増やしたい」「活動中の利用者さんの笑顔に遣り甲斐を感じる」などの意見が多く見られました。日中活動推進のプロジェクトチームを立ち上げ支援体制の構築を図り、今年度は日中活動部会を中心に活動実践を推進しています。「長期に入所されている利用者の方々に、様々な体験や刺激を通して余暇を楽しんでいただき、生活の質を向上させる」を目的としており、利用者さん同士や職員との親交

を図りながら楽しんでいただけるように趣向を凝らしています。日中活動を大きく分けると、グループ活動・個別活動・全体活動となりますが、設定された活動時間以外にも様々な活動が確保できるよつ努めています。

グループ活動の取り組みの一つに、「クローバー」という活動があります。クローバーは各病棟から利用者さんと生活支援員・看護師が数名ずつ集まり、定期的に活動を行なっています。今年度は、「新たなグループ活動」と病院内職員で構成する「音楽活動企画」の2つを検討中です。

今後も利用者の方々の自己決定を大切にし、居室から、そして病棟から離れた時間も提供できるように努め、それぞれの利用者さんに人生を楽しんでいただきたいと思えます。また、利用者さんに対して、介護者や支援者という考え方だけではなく、人生のパートナーとして遣り甲斐を持てる職場風土作りにも力を尽くします。



グループ活動風景

西多摩だより

西多摩療育支援センター
生活支援部長 柳瀬 達夫

利用者個々のライフステージに

合わせた取り組みを工夫しています

今から50数年前、肢体不自由の療育から始まった鶴風会の事業は、今では最重度の重症心身障害児者から、医療の診断やアドバイスの必要な発達障害の方まで広がりを見せています。そうした中で、西多摩療育支援センターでは、重度身体障害者の入所施設と重症心身障害児者の通所事業を通して、生活面からの支援を行っています。特に

障害者に対する健康管理は、鶴風会が開設した時代では想像もつかないほど進みました。入所施設では、現在、最高齢が77歳、若い方で26歳の方も入所して、平均年齢は57歳となっています。通所施設はまだ、そこまではありませんが、58歳の方も通われています。障害のある方も、ない方も同じように年齢を重ねられる時代になりつつあります。しかし、障害のある方が年齢を重ねれば、その分健康管理や介護にかかる時間は多くなり、入所も通所も生活を支えながら、個人やライフステージに合わせた活動を充実させることがテーマになっています。そこで、西多摩療育支援センターの取組みの例を紹介いたします。

例えば、入所施設では「こころみ」という活動があります。施設に入所している利用者は、自己決定をする機会が限定されて、自分で決めることがほとんど少なくなる傾向があります。「こころみ」の活動では、まず時間をかけて自分のやってみたいことを、言葉や表情から引き出すことから取り組めます。個別の希望が特定できたら、利用者の障害に合わせてわかりやすく計画します。計画に沿って、準備し実行します。実際には、普段行くことが

できない思い切った外出などが多いのです。例えば、高いところ登ってみたり方は高尾山にケーブルカーで登ったり、好きな野球を球場で観戦したり、以前住んでいた東京下町を訪ねたりと、様々な思いを実現しています。時間をかけて行つので、自分の番が来るまでに長い時間がかかる場合もありますが、とても有意義な活動のひとつです。

また、重症心身障害者が活動している通所施設では、これまで3つのグループ単位に分かれての活動が中心でしたが、通所に通う利用者たちも年々歳を重ね、グループ別に活動を同時に行うことが難しくなってきました。そのため、チーム別に活動を設定して、チーム別活動参加者以外の方はリラクゼーションやDVD鑑賞などのメニューでゆとり過ごす時間を作りました。ミュージックプログラム、フィーリングプログラム、レクリエーションプログラム、オリジナルプログラムの4つのチームで活動を設定して、この時間に活動を集中させ内容にメリハリがつくように工夫しています。リハビリスタッフとも活動内容で具体的に連携し、個々の利用者により注目してライフステージに合わせた活動をすすめる機会につながっています。

平成三十年度
鶴風会表彰式

法人事務局

去る平成三十年六月十四日(木)に、今年度の法人表彰式を執り行いました。受賞者の方々には、日頃のご尽力に感謝いたしますとともに、引き続きお力添えを賜ります様お願い申し上げます。

永年勤続表彰

勤続三十五年

理学療法士 丸森 睦美
理学療法士 大友 則恵

勤続三十年

理学療法士 森 智子
生活支援員 白井 美千代

勤続二十五年

調理師 栗澤 康夫
理学療法士 矢野 悦子

看護師 伊藤 みゆき
生活支援員 小山田 救人

生活支援員 知名根口 美保子
生活支援員 瀧 広明

勤続二十年

放射線技師 片口 公
理学療法士 川井 まさよ

作業療法士 住田 多恵子
看護師 吉田 武

勤続十五年

事務 石井 昌之
医師 赤星 恵子

医師 鶴岡 広
薬剤師 吉田 陽子

薬剤師 菊池 綾
看護師 森裕 直美

看護師 榎本 紀恵
看護師 藤木 真由美

看護師 占部 友一
看護師 馬場 美那子

生活支援員 久保秋 聖
生活支援員 村木 健太郎

生活支援員 野島 雅裕
生活支援員 野島 雅裕

医師 椎木 俊秀
言語聴覚士 重森 知奈

言語聴覚士 泉 幸枝
看護師 木村 裕明

看護師 十河 春菜
看護師 水村 静江

准看護師 長田 正吾
生活支援員 篠原 美千子

生活支援員 宮下 彩香
生活支援員 金子 幸太郎

生活支援員 佐藤 優
生活支援員 小川 高史

生活支援員 永原 裕嗣
生活支援員 辰野 美樹

永年勤続表彰の記念撮影



社会福祉法人 鶴風会

チャリティコンサート ～オルフェの会～

当法人後援会主催の歳末チャリティコンサート「オルフェの会」を今年も開催することとなりました。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

会費の一部は社会福祉法人鶴風会の発展に寄与させていただきます。

ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

日 時 平成30年12月2日(日)
12時開演

場 所 新高輪プリンスホテル 国際館パミール

会 費 2万円(予定)

内 容 2部構成になっております

①弦楽四重奏コンサート

ヴァイオリン 瀬川祥子、ヴィオラ 村田恵子、チェロ 水谷川優子、

コントラバス 鷺見精一、ピアノ 山本貴志

②落語 出演者 三遊亭楽生

どうぞご期待ください。

申込み 社会福祉法人鶴風会 後援会

事務局 上村(うえむら)裕史・岩井秀彦 宛

電 話 : 042-561-2521 FAX : 042-566-3753

社会福祉法人 鶴風会

チャリティバザーのお知らせ

日 時 平成30年10月21日(日)
10:00 ~ 14:00

場 所 東京小児療育病院院庭

- みどり祭りを同時開催 -

チャリティバザーでは、10月中旬までご寄贈品を受け付けております。

ご協力お願いいたします。

イベント・作品展・模擬店など企画しております。

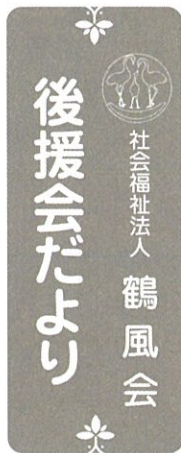
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

お問合せ

社会福祉法人鶴風会 後援会

事務局 上村(うえむら)裕史・岩井秀彦 宛

電 話 : 042-561-2521 FAX : 042-566-3753



自然災害

昭和25年卒 二宮文乃

今年の災害は未曾有の災害・地震・台風・高波高潮水害、(津波、風害、竜巻)山崩れ・酷暑・水不足、トイレ、家財道具のゴミ、避難生活で食糧不足、熱中症、不眠症等であった。鶴風会においても200人の避難方法、避難生活をどうするか。重症から軽症まで自分で歩行出来ない障害者は避難方法もままならない。災害は他人事どころではない。

今年の災害は広範囲に亘り、且つ桁違いに多かった。雨・風・激流・山崩れ・家屋倒壊・梅雨前線が停滞したこともあり大災害になってしまった。日本列島北から南まで安全なところは何処にもない状態である。その上、地震・高潮・高波が当地にも襲来した。そこで当院を訪れた障害者の事例を呈示する。発達障害児者・入所者・通所

者の処遇についてである。動ける人達ははまだよい。私の関係している施設は21才〜60才迄で、30名の人数を職員が5〜6名で看る状態である。鶴風会の施設は176名の不自由者がいるが以前のような原っぱの広がるところではないので災害時はどうやって避難するのだろうか。訓練はやっているだろうが体の状態を定期的に調べるように身の回りの安全性やハザードマップをみにつけて眺めるようにその備えを常に行動するような防災診断を多くの人が生活に取り入れるようになることが先決である。

西日本を襲った豪雨は他人事ではない。今回、台風は北上してきて東から西へ向きを変えて神奈川県、静岡県、東海地区を襲い再び西へと向った。当地でも海岸線に高潮高波が押し寄せて防波堤や散歩の途中で眺めていたビルの正面がやられた。小田原、真鶴間の海岸沿いの道路は30台程が高波に押しつぶされたが幸い乗っていた人は成人であり無事であったが、軽症を負ったようである。こんな時に障害者は逃られるだろうか。熱海市の離島の初島港の堤防損壊、それにつづく食堂街も破損した。このあたりで、この様子では中国、四国、九州地方は損壊が激しく

行方不明者も多かったと思う。このような状況の中を避難するのは困難である。まして障害者が避難するのは1人では困難である。鶴風会のように人手があれば命が助かるが1人3〜4名を介護する避難するのは助からないと思う。そこで国を挙げて治山、治水対策を急がねばならない。

センター祭

生活支援部 通所係 佐藤 優

西多摩療育支援センターでは、6月3日の日曜日に第15回センター祭が行われました。当日は例年の様に天候にも恵まれ、地域の施設も多数集まりました。祭りの開始は元氣太鼓の勢いのある音で始まり、利用者様や地域の方などが一緒に太鼓を楽しむ姿がとても印象的でした。また全国チェーンのハンバーガー店より等身大のキャラクターが駆けつけて下さり、手品や福笑いなど子どもたちも一緒に楽しめるようなプログラムで、終始楽しい雰囲気です。よい時間を提供していただきました。そして屋外では葛西臨海水族園さんの移動水族館「つみくる号」と沢山のスタッフの方が来て下さり、普段見るこ

とできない貴重な海水魚を車椅子の利用者様でも容易に見る事ができる様専用のスロープ台を使って案内していただきました。また鑑賞水槽だけではなく、タッチプールでも利用者様が不安にならないよう優しく丁寧に説明をしていて、海の生き物と触れ合うことができました。始めはドキドキしている表情の利用者様もゆっくりと海の生き物に触れる事ができるようになりました。午後イベントは2年連続で若者たちのパフォーマンスグループ「Power in da Performance」。フリースタイルバスケット、ジャグリング、タップダンス、ストリートダンスを楽しみました。そして昨年同様フリースタイルバスケットの最後にはボール回しを体験するコーナーがあり、指の上で回るボールに利用者様の顔も誇らしげでした。ストリートダンスでは全員が音楽にあわせながら会場中を行ったり来たり大盛り上がりでした。祭りの最後は毎年お世話になっている「きくらば

ンド」の皆様で大小様々な楽器から流れる子どもから大人まで誰もが楽しめる曲目と流行曲の音色！ドドドドドドドドドドで始まる子どもたちが大好きなドラえもん曲に全員が大興奮でした！今年も沢山の近隣施設の皆様やボランティアの皆様のお力添えによってセンター祭を行う事ができました。これからもそのかけがえのない地域・人の絆を大切にしながらより一層、地域の力になれる様、取り組んでいかなければと感じます。今回もセンター祭にお力添えしてくださった皆様本当にありがとうございました。

社会福祉法人鶴風会へ

「ご寄付者」ご芳名

平成30年3月～平成30年7月

■名(順不同・敬称略)

青木 悦・青木 美澄・青木りつ子
朝山 浩行・東 恵子・阿部美代子
阿部 俊彰・有村 章・井澤 正博
井澤 節郎・石川 元子・石田 勇
石田 哲朗・石塚 博子・石原 学
伊藤 元博・稲垣 登穂・猪俣賢一郎
内 孝文・内 孝允・梅田 正法
梅田みほ子・梅田 嘉明・江川 惠基

大江 容子・大久保陽一郎・大高 究
大塚 慶子・岡 怜奈・岡田 研吉
小野 昭子・小原 明・小原 桂子
加藤まこと・加藤祐之助・加藤 葉子
金森 勝士・金子 晴生・鎌田 直子
上岡 謙夫・関東 繁・菊地 由美
久保 初美・黒木 貴夫・向山 徳子
小柴 裕子・後藤加寿美・小西 冬海
小林登喜子・近藤 栄作・斎藤 眞一
斎藤 雅彦・坂本 勉・佐々木徹郎
佐々木裕美・佐多 由紀・佐渡 昌子
佐藤 明子・佐藤 和子・佐藤 清子
佐藤 信一・佐藤 裕美・佐藤 麗子
澤井 寛人・塩野 久子・塩野 則次
渋谷 昌良・島野 光・清水 一輝
清水 光政・杉本 寛子・鈴木 茂
鈴木 良二・鈴木 秀明・漆畑 修
高月 誠・高橋 孝彦・竹川 恵
田中 淳子・田中 政信・田沼 博
田部 秀山・塚原 洋子・土屋 英子
堤 俊一郎・長井 和子・長岡 貞雄
中岡 義明・中里恵美子・中園 宏紀
中村みゆき・中村志津子・並木 温
野上和加博・野口 隆敏・野田 文子
野村 直子・濱中知恵子・林 京子
林 晴男・原田 孝・原田千鶴子
原田裕美子・平田 徹・平野 亨
平野 陽子・藤牧 賢治・古橋 文武
星出 陽子・松岡 清子・三浦 英子

三木 一正・美島 利通・水野 孝子
水野 惇子・三宅 三・宮崎 元伸
村川 公一・村川世津子・望月 祐一
百瀬せつ子・森 克彦・森 紘子
守田 洋・柳川 忠二・矢野 春雄
山川ふみ子・山田耕一郎・山村百合子
山村 憲・吉田 勝彦・吉田 正己
渡辺 享子・渡辺 善則・阿部 正和
安土 達夫・安部 良治・伊藤 圭子
一林 繁・稲松 信雄・宇佐見三代
宇野 拓・宇野久仁子・加藤 聡彦
海老根東雄・釜范 登志・館 彩
館野 昭彦・丸山 和子・丸山 征爾
鬼頭 秀明・菊池 信彦・吉見 梓
吉田 宏重・吉田 友英・吉澤 熙
橋詰 直孝・橋口 亮・橋口 玲子
芹澤 滋幹・月本 一郎・月本 伸子
原山 国秀・向山 秀樹・荒木眞佐子
黒瀬 嘉幸・根本 暁・佐藤 中
佐藤 重雄・斎藤 則善・細澤 裕子
山崎 公子・山本 温子・山本 高裕
志鳥眞理子・鹿島田忠史・柴 孝也
若松 茂樹・春日井正典・小原 該一
小波 達郎・松原 龍弘・水吉 秀男
杉 薫・菅野 壽子・西井 華子
西宮 常代・西條 公勝・石北 壽子
先山 隆司・浅島 裕雄・倉根 理一
早原 千鶴・早川 浩市・足高 毅
大島 剛・谷野 徹・炭山 朋子

炭山 嘉伸・中村 豊・中谷 尚登
長澤 貞継・辻本公美子・土方 淳
島田 敏雄・湯浅 玲奈・湯澤 俊
馬嶋 順子・萩原 泰・柏崎 操
柏崎 操・飯国紀一郎・飯国 弥生
飯国洋一郎・飯塚 卓・蛭田 啓之
武居 正郎・武者 芳朗・福原紀美子
平山玖美子・堀之内八千代・明間 邦子
野中 博子・野中 杏栄・鈴木力ツ子
高橋比路美・高槻 義夫
あきる野市障がい者団体連絡協議会
会長 田中晴美
㈱エクセル・サービス
きらら会
立川酸素㈱
医療法人ピーアイエー 中村友美
医療法人社団 同友会
八王子建物管理㈱
福(ひなた和楽会
東京小児療育病院 父母の会
通所 保護者会
鶴風会後援会

